

部会グループ会議における意見と県の対応

NO	プロジェクト名	委員名	区分	意見	対応	二次評価（案）
1	1 かながわスマートエネルギー構想の推進	内田委員	プロジェクト全体の評価	再生可能エネルギーという観点では、神奈川県は全国の自治体で一番大きな水力発電施設を保有している。評価報告書にも積極的に記載しアピールするべきである。	二次評価（案）に反映しました。 なお、県内の電力消費量に対する再生可能エネルギー等の導入割合の実績値には、企業庁の水力発電分も含めています。	やや遅れています ・再生可能エネルギーの普及については、太陽光発電の導入拡大を図るほか、これまでの水力発電の取組みなどについても積極的にPRしていく必要があります。
2		内田委員	推進上の課題や改善を図るべき事項	燃料電池自動車や定置型燃料電池について積極的に支援すべきであり、補助金などの形で利用者への支援を行うべきである。	二次評価（案）に反映しました。	・分散型エネルギー体系の構築に向け、今後、燃料電池自動車や定置型燃料電池の普及を推進していく必要があります。

NO	プロジェクト名	委員名	区分	意見	対応	二次評価（案）
3	2 エネルギー関連産業の集積促進	矢野委員	推進上の課題や改善を図るべき事項	県民ニーズ調査では、「ベンチャー企業への支援など、新たに事業を起こしやすい環境が整っていること」を重要だと思う人の割合が5割に達していない。 <u>ベンチャー企業への支援などの必要性について認知度を上げる必要があるのではないか。</u>	二次評価（案）に反映しました。	概ね順調に進んでいます ・ベンチャー企業への支援などの必要性について、県民意識を高めていく必要があります。
4		内田委員	推進上の課題や改善を図るべき事項	かながわサイエンスパーク（KSP）は、県の施策と調和した新産業育成や人材育成を行っているので、連携して取組みを進めるべきである。	KSPとはこれまでも連携した取組みを進めていますが、今後も連携に努めます。	
5		山本委員	その他	「エネルギー関連」、「新エネルギー関連」はそれぞれ何を表すのか明確にしてほしい。	「新エネルギー産業」については、経済産業省の「新たなエネルギー産業研究会」中間とりまとめにおける定義を、評価報告書に記載しました。 「エネルギー関連産業」については、例えば「エネルギー関連ベンチャーの事業化件数」では、「かながわスマートエネルギー構想」における「創エネ」、「省エネ」及び「蓄エネ」に関連する産業としています。	
6		内田委員	その他	かながわサイエンスパーク（KSP）が育成しているベンチャー企業などのデータについても記載が必要ではないか。 県が出資している機関の実績についても県の実績として上げてよいのではないか。	KSPなど、関係機関との連携等による取組みも含めて全体の実績を記載しています。	

NO	プロジェクト名	委員名	区分	意見	対応	二次評価(案)
7	3 津波被害を軽減する対策の強化	高橋委員 齋藤(純)委員 村木委員	プロジェクト全体の評価	津波避難施設数、実動訓練実施市町数の数値目標達成状況について、ともに目標1に対し実績1で100%とするのは危機管理意識が薄いのではないか。	2012年から2014年までのプロジェクトの目標値と実績値を「数値目標の達成状況」の中で記載しています。 津波避難施設の整備に着実に取り組む必要性について二次評価(案)に反映しました。	順調に進んでいます ・国の被害想定等を踏まえた調査や津波避難施設の整備、沿岸市町と連携した訓練や情報提供のしくみづくりなど、津波から県民を守る取組みを着実に進めていく必要があります。
8		三井委員	プロジェクト全体の評価	目標値を達成しているのですが、プロジェクトの評価は変えなくてよいが、 <u>具体的な対応や連携の強化が図られるよう、今後の課題を明確にしていきたい。</u>	二次評価(案)に反映しました。	
9		齋藤(文)委員	推進上の課題や改善を図るべき事項	津波は早ければ地震発生後数分で到達することは一般論としては認識しているが、どこに避難すればよいかは意識しておらず、この点で課題が残る。標高表示板のような県民に伝わりやすい方策を活用し、周知徹底を図ってほしい。	津波避難情報の提供に取り組んでおりますが、さらに取組みを推進するよう、事業実施の中で対応を検討します。	
10		竹中委員	推進上の課題や改善を図るべき事項	「5分で5階程度の安全な高さへ」は具体的に分かりやすいが、この課題に対し、取組みとして挙げられている「市町と連携」「道路情報板」がどうつながるか分からないので、記載を工夫してほしい。	評価報告書の道路情報板の記述を修正しました。	
11		高橋委員	推進上の課題や改善を図るべき事項	見慣れた道でも震災直後は様子が変わってしまい避難経路として機能しない。行政主導で、住民とともに実効性のある避難経路の調査と周知徹底を行うべき。	津波避難情報の提供に取り組んでおりますが、さらに取組みを推進するよう、事業実施の中で対応を検討します。	

NO	プロジェクト名	委員名	区分	意見	対応	二次評価(案)
12	4 大規模災害などに備える災害対応力の強化	高橋委員	推進上の課題や改善を図るべき事項	震災直後、ガソリンなどの供給がストップし各方面に支障が出た。民間への供給不足を軽減するため、自治体や病院はガソリンなどを備蓄するべき。	災害時即応体制の強化に取り組んでおりますが、さらに取組みを推進するよう、事業実施の中で対応を検討します。	概ね順調に進んでいます ・東日本大震災で顕在化した課題への対応として、液状化対策などへの着実な取組みが求められています。
13		高橋委員	推進上の課題や改善を図るべき事項	震災直後の窃盗などの犯罪を防ぐため、法令でセーフティプランを設けることで被害を軽減できるのではないかと。	事業実施の中で対応を検討します。	
14		齋藤(純)委員	推進上の課題や改善を図るべき事項	東日本大震災で顕在化した課題として、液状化現象について言及する必要はないかと。	液状化対策については、津波対策や帰宅困難者対策とともに地震防災対策を推進することとしておりますが、ご意見の趣旨は二次評価(案)に反映しました。	
15		竹中委員	推進上の課題や改善を図るべき事項	テロやミサイル攻撃などの安全保障上の災害について、このプロジェクトで考慮する必要はないかと。	事業実施の中で対応を検討します。	
16		齋藤(文)委員	その他	取組みの成果など、数字だけでは具体的にわかりづらいので、消防指令センター共同運用の8市町がどこなのかなどを分かりやすく表してほしい。	評価報告書の消防の広域化及び消防指令センターの共同運用に参加する市町村の記述を修正しました。	

NO	プロジェクト名	委員名	区分	意見	対応	二次評価(案)
17	5 犯罪や事故のない安全で安心なまちづくり	三井委員	プロジェクト全体の評価	「犯罪や交通事故がなく安全で安心して暮らせること」の満足度は1/4にも届いていないが、一次評価が「概ね順調」となっている。身の安全に対する行政への期待は大きいので、体感治安の向上に向けた一層の取組みの推進が必要である。	二次評価(案)に反映しました。	概ね順調に進んでいます ・体感治安の向上に向けた、より一層の取組みの推進が必要です。 ・犯罪や事故の起きにくい安全な社会づくりに向け、さらなる取組みの強化が必要です。
18		三井委員	推進上の課題や改善を図るべき事項	実態として刑法犯認知件数が減少しているが、県民の実感に反映していないのは行政の責任である。表現も含めて検討が必要。	二次評価(案)に反映しました。	
19		齋藤(文)委員	推進上の課題や改善を図るべき事項	犯罪者の更生・自立支援などの再犯防止策も安全な社会づくりには重要であり、課題と対応に含めてほしい。	家庭問題や少年の更生・再犯防止等の支援に関しては関係機関、ボランティア団体等と連携しながら推進していますが、犯罪者の更生・自立支援に関しては、プライバシー保護の観点などから極めて慎重を期すことが求められており、実施できる取組みには限りがあると考えています。	
20		高橋委員	推進上の課題や改善を図るべき事項	サイバー犯罪が悪質・巧妙化しており、捜査体制を強化しているところかと思うが、まだ住民のニーズにマッチしておらず、今後も拡充が必要である。	今年度から、サイバー犯罪対策課を設置し、悪質・巧妙化するサイバー犯罪に対応できる体制を構築しています。	
21		竹中委員	推進上の課題や改善を図るべき事項	サイバー犯罪、振り込め詐欺、麻薬など、重点的に対策を行う項目を、今後の課題と対応方向に記載してほしい。	評価報告書の今後の課題と対応方向の記述を修正しました。	
22		三井委員 高橋委員	その他	県警の不祥事が多発しており、警察への信頼を損ねている。具体的な課題として記載することは難しいと思うが、行政自ら襟を正すことは重要である。	再発防止に向けて取り組んでいるところですが、事業実施の中で更に対応を検討します。	
23		齋藤(純)委員	その他	「神奈川県生活保護不正受給等防止対策連絡会」が組織犯罪の項目にぶら下がっているのは誤解を招くのではないか。	評価報告書の2012年度の主な取組みと成果の記述を修正しました。	
24		齋藤(純)委員	その他	「被疑者DNA型データベース」の表現は適切か。	警察白書に同じ標記で記載しており、検挙した被疑者の指紋、写真採取に関する法規にも「被疑者」という言葉で明記されています。	

NO	プロジェクト名	委員名	区分	意見	対応	二次評価（案）
25	6 高齢者が生き生きとくらす社会づくり	植松委員	推進上の課題や改善を図るべき事項	地域包括支援センターは設置数だけでなく、直営と委託でサービスに差が出ないよう、質の向上に関する取組みを記載してほしい。 また、高齢者にとって分かりやすいワンストップ窓口になるように方向付けをしてほしい。	二次評価（案）に反映しました。	概ね順調に進んでいます ・地域包括支援センターへの支援については、人材育成等によるさらなる質の向上や、高齢者にとってより一層分かりやすい窓口として機能するような取組みを進める必要があります。
26		池本委員	推進上の課題や改善を図るべき事項	高齢者の健康・生きがいづくりについては、ニーズにマッチするよう高齢者自身が施策づくりに参画する仕組みが必要ではないか。	ゆめかながわシニアフェスタなどでは、実行委員会方式により高齢者自身も参画していますが、引き続き事業実施の中で対応を検討します。	
27	7 県民が安心できる保健・医療体制の整備	大久保委員	プロジェクト全体の評価	「神奈川力構想・白書2009」（戦略PJ11）では、二次評価として「 <u>今後は在宅で死を「安心」して迎えるとの視点に立った医療体制の構築が必要である。</u> 」と記載されているが、今回の調査報告書ではこの点について触れられていない。	昨年度策定された「神奈川県医療のグランドデザイン」において、目指すべき医療の姿の実現に向けて推進する主な取組みとされていますが、ご意見の趣旨は二次評価（案）に反映しました。	概ね順調に進んでいます ・医療体制の構築に当たっては、在宅で安心して看取りまでの療養生活を送るとの視点に留意する必要があります。 ・ICTの活用については、セキュリティ面でのリスクやコスト負担の面も踏まえながら検討を進める必要があります。
28		植松委員	推進上の課題や改善を図るべき事項	ICTの活用は、 <u>セキュリティ面でのリスクやコスト負担の面も踏まえた検討が必要である。</u>	二次評価（案）に反映しました。	
29	8 こころといのちを守るしくみづくり	江口委員	その他	県民ニーズの動向と総合分析で、同じデータ（「相談できる人がいる」）を裏返して記載しているが、分かりづらいので整理してほしい。	評価報告書の総合分析欄の記載を修正しました。	概ね順調に進んでいます

NO	プロジェクト名	委員名	区分	意見	対応	二次評価（案）
30	9 障害者の地域生活を支えるしくみづくり	大久保委員	推進上の課題や改善を図るべき事項	重度障害者への医療費助成以外（金銭的な支援という側面以外）の課題、対応方向も記載する必要はないか。	評価報告書の今後の課題と対応方向の記述に「重度障害者への医療費助成」以外についても記載しました。	概ね順調に進んでいます
31		池本委員	推進上の課題や改善を図るべき事項	障害のある子どもを対象とした施策（子どもの遊び場や居場所の確保など）は検討されているか。	平成24年4月の児童福祉法改正により、障害児を対象とした放課後等デイサービスが創設され、放課後や夏休み等の長期休暇中におけるサービスが提供されています。	
32		江口委員	その他	県民ニーズ調査が高齢者や障害者以外も対象としているのであれば、実感ではなくイメージ的な回答になるので、指標として適当か疑問がある。掲載項目を精選することや、高齢者や障害者だけを対象とした調査結果に代えることはできないか。	新たな県民ニーズ調査の項目を検討する際の参考とさせていただきます。	
33	10 男女がお互いを尊重しともに活躍できる社会づくり	江口委員 池本委員	その他	<u>35～39歳の女性の労働力率ワースト2位の背景の分析が必要ではないか。</u> <u>配偶者の給与が高いため就業の必要がない、社会貢献や自己実現のためにあえて就業しないなど、ポジティブな理由も考えられるので、必ずしもステレオタイプの評価をする必要はないのではないか。</u>	二次評価（案）に反映しました。	概ね順調に進んでいます ・女性の社会貢献や自己実現について、今後幅広い観点から検討を進めて行く必要があります。
34	11 多文化共生の地域社会づくり	池本委員	推進上の課題や改善を図るべき事項	外国籍の子どもは孤立しがちなので、県としての支援が必要ではないか。	外国籍県民の生活支援については、地球市民かながわプラザにおける外国人教育相談や法律相談、一般相談などを行っていますが、さらなる支援については事業実施の中で対応を検討します。	概ね順調に進んでいます ・多文化共生社会の実現に向け、言語、文化、交流といった視点だけでなく、外国籍県民の生活や教育支援など幅広い取組みを進める必要があります。
35		江口委員	推進上の課題や改善を図るべき事項	<u>多文化共生社会は、言語、文化、交流といった視点だけでなく、外国籍県民の生活支援など幅広く捉えてもよいのではないか。</u>	二次評価（案）に反映しました。	

NO	プロジェクト名	委員名	区分	意見	対応	二次評価（案）
36	12 健康で豊かな人生を築くスポーツ振興	首委員	推進上の課題や改善を図るべき事項	学校での体育は非常に重要であり、特に青少年のスポーツでは学校を切り離すべきではない。	子どもの体力・運動能力向上を図るため、学校における体育や健康教育の充実、運動部活動の活性化について、重点的に取り組んでいるところですが、さらなる推進に向けて、事業実施の中で対応を検討します。	概ね順調に進んでいます ・スポーツをしない人がスポーツに関われるようなしくみやスポーツに関する情報提供のあり方について検討する必要があります。
37		池本委員	推進上の課題や改善を図るべき事項	子どものスポーツについては、学校でのクラブ活動も含めて考えていく必要がある。	子どもの体力・運動能力向上を図るため、学校における体育や健康教育の充実、運動部活動の活性化について、重点的に取り組んでいるところですが、さらなる推進に向けて、事業実施の中で対応を検討します。	
38		池本委員	その他	スポーツで体を壊したりすることもあるし、部活動における体罰の問題もある。単純にスポーツをやるだけの話だけではなく、そういった点も考えていく必要がある。	関係団体との連携等により、スポーツ傷害の予防や、体罰の根絶などに取り組んでいるところですが、さらなる周知等に向けて事業実施の中で対応を検討します。	
39		池本委員	推進上の課題や改善を図るべき事項	スポーツについてはやる人とやらない人の二極化しているため、 <u>やらない人をどのようにしてスポーツにつなげるかを検討するとともに、スポーツに関する情報提供のあり方も検討したらどうか。</u>	二次評価（案）に反映しました。	
40		首委員	その他	「子どもが週3回以上のスポーツを実施する率」には、学校で行われる部活動などは含まれるのか。 スポーツの定義は何か。	学校で行われるクラブ活動は含まれます。また、スポーツの定義ですが、軽い体操や散歩などの身体活動を「運動」とし、ルールや決まりに基づいて活動する陸上競技やサッカー、武道などを「スポーツ」としており、プロジェクトにおける「スポーツ」は、運動とスポーツの両方を含んでいます。	

NO	プロジェクト名	委員名	区分	意見	対応	二次評価（案）
41	13 子ども・子育て応援社会の推進	江口委員	その他	横浜市が実施した待機児童減少のための取組みを普及するため、評価報告書に記載してもよいのではないか。	二次評価（案）に反映しました。	順調に進んでいます ・近年急激に待機児童数が改善された横浜市の待機児童対策の動向、取組みに関する検証等も踏まえ、県域においてもより効果的な取組みを進める必要があります。
42	14 子どもの安心のための総合的な支援	池本委員	推進上の課題や改善を図るべき事項	子どもの権利条約が守られているかをチェックし行政に提言するため、オンブズマンの設置を検討してはどうか。	事業実施の中で対応を検討します。	概ね順調に進んでいます ・子どもの権利擁護のあり方について、親子のかかわりや学校教育のあり方などの観点を含め、幅広く検討を進める必要があります。
43		池本委員	推進上の課題や改善を図るべき事項	国際比較調査で、孤独を感じる子どもの割合は日本が突出して高い。子どもの権利擁護の観点から、親の生活のゆとりの問題や学校教育のあり方など幅広い議論が必要ではないか。	二次評価（案）に反映しました。	
44	15 明日のかながわを担う人づくり			意見なし		概ね順調に進んでいます
45	16 地域資源を活用したにぎわい拠点づくり	内田委員	推進上の課題や改善を図るべき事項	地域だけでなく、鉄道事業者や観光事業者などとの連携も必要ではないか。（PJ17と共通）	鉄道事業者や観光事業者などと連携して取組みを進めておりますが、さらに取組みを推進するよう、事業実施の中で対応を検討します。	概ね順調に進んでいます
46		内田委員	推進上の課題や改善を図るべき事項	若者の視点も取り入れるために、大学の観光学部との連携を勧めたい。（PJ17と共通）	現在も連携して取組みを進めており、今後も連携しながら進めてまいります。	
47		金子委員	その他	取組みと成果の中で、ソフト系事業の取組状況についてもう少し記述があってもよいのではないか。	評価報告書の主な取組みと成果を修正しました。（「大山山麓・食の文化祭」の開催や地場産品を活用した新メニューの提供）	

NO	プロジェクト名	委員名	区分	意見	対応	二次評価（案）
48	17 行ってみたい神奈川の観光魅力づくり	矢野委員	推進上の課題や改善を図るべき事項	数値目標は達成しているが、活気を失った商店街は多く、にぎわいのある商店街が身近にあることに対する県民満足度も低い。 <u>引き続き、若手人材育成などの課題に取り組んでもらいたい。</u>	二次評価（案）に反映しました。	概ね順調に進んでいます ・商店街の活性化に向けて、若手商業者の人材育成などにさらに取り組む必要があります。
49		内田委員	推進上の課題や改善を図るべき事項	地域だけでなく、鉄道事業者や観光事業者などとの連携も必要ではないか。（PJ16と共通）	現在も鉄道事業者や観光事業者などと連携して取組みを進めているところですが、さらに取組みを推進するよう、事業実施の中で対応を検討します。	
50		内田委員	推進上の課題や改善を図るべき事項	若者の視点も取り入れるために、大学の観光学部との連携を勧めたい。（PJ16と共通）	評価報告書の主な取組みと成果の記述を修正しました。現在も大学と連携して取組みを進めているところですが、さらに取組みを推進するよう、事業実施の中で対応を検討します。	
51		内田委員	推進上の課題や改善を図るべき事項	留学生や在日外国人の方に協力してもらおう、来てもらうなど、これまでとは違う視点から商店街の活性化を検討することが必要である。	商店街の活性化を意欲的に進める商店街の地域ブランドづくりへの支援を行っているところですが、機会を捉えて留学生や在日外国人の方の視点を反映するよう、事業実施の中で対応を検討します。	

NO	プロジェクト名	委員名	区分	意見	対応	二次評価（案）
52	18 文化芸術による心豊かな神奈川づくり	内田委員	プロジェクト全体の評価	県民ニーズの動向（文化芸術鑑賞や活動に参加できる場が身近に整っていることの満足度）は数値が低く、「概ね順調」とする総合分析と結びつかない。順調と判断する根拠となる指標は他にないか。	評価報告書の県民ニーズの動向の記述を修正しました。	概ね順調に進んでいます ・地域が支える芸術活動への支援をさらに進めるよう検討する必要があります。
53		矢野委員	プロジェクト全体の評価	社会環境を表す指標は実感と乖離している。延人数ではないか。「概ね順調」という結論を導くために恣意的にデータを選択した印象を受けるので、他の客観的な指標で分析できないか。	評価報告書の社会環境を表す指標の記述を修正しました。	
54		内田委員	推進上の課題や改善を図るべき事項	神奈川フィルの支援は成功しており、地域が支える芸術活動を具現化するべきである。県民に芸術を身近に感じてもらえるよう、スポンサーを募り、県主催のコンサートなどを多く行うべきである。	（前段） 地域の芸術活動について広く理解を得るため、県のポータルサイトによる情報提供の充実に努めるとともに、地域の伝統芸能の公演の場を県が提供するなど、地域が支える芸術活動を支援しています。 （後段） 地域に協力を働きかけ、コンサートなどの公演を行っており、今後も続けていきます。	

NO	プロジェクト名	委員名	区分	意見	対応	二次評価（案）
55	19 NPOの自立的活動と協働の推進	矢野委員	プロジェクト全体の評価	設立後、休眠状態となっているNPO法人も存在する。数値目標の達成状況だけではなく、現実が見えてくるよう、今後の課題と方向性を明示してほしい。	評価報告書の推進上の課題や改善を図るべき事項の記述を修正しました。	概ね順調に進んでいます ・社会的サービスの担い手として、NPO以外の法人の参画の増加に対応するため、多様な担い手による協働の推進に取り組む必要があります。 ・寄附文化の醸成に加え、NPOの安定的な財政基盤強化の支援を進める必要があります。
56		治田委員	推進上の課題や改善を図るべき事項	社会的サービスの担い手として、NPO以外の法人の参画も増えているが、これに対する行政の施策は進んでいないので、先進的に取り組んでもらいたい。	二次評価（案）に反映しました。	
57		治田委員	推進上の課題や改善を図るべき事項	NPOへの県からの補助が厳しくなると聞いている。今後、政策の転換が必要になると思うが、評価報告書では触れられていないので、今後の課題として記載してもらいたい。	評価報告書の推進上の課題や改善を図るべき事項の記述を修正しました。	
58		治田委員	推進上の課題や改善を図るべき事項	施策の次の広がりが見えない。今後、県からの補助がなくなった場合に、社会サービスは現状のままでいいのかといった視点での調査も必要ではないか。	「神奈川県新しい公共支援事業基金」については、2年間の時限であり終了しましたが、「かながわボランティア活動推進基金21」において、新しい公共支援事業での成果を踏まえ、25年度から新たに「ボランティア団体成長支援事業」を実施するなど、引き続きボランティア団体等への支援を行います。	
59		牛山委員	推進上の課題や改善を図るべき事項	寄附文化の醸成に加え、ファンドの創設など、安定的な財政支援の構築を検討するべきではないか。	二次評価（案）に反映しました。	

NO	プロジェクト名	委員名	区分	意見	対応	二次評価（案）
60	20 「水のさとかながわ」づくり	牛山委員	推進上の課題や改善を図るべき事項	県民の自主的な取組みを醸成し、連携による施策運営を位置付けるべきではないか。	県民の自主的な取組みの醸成や連携に取り組んでおりますが、さらに取組みを推進するよう、事業実施の中で対応を検討します。	概ね順調に進んでいます ・豊かな水に恵まれた神奈川の美しい自然を、県民自らが再認識し、保全・再生する取組みとともに周知する取組みを今後も進めていく必要があります。
61		山本委員	その他	総合分析では、東日本大震災の影響を記載するよりも、環境教育や体験活動のように、水の重要性を考え直す取組みについての記載をした方が適切ではないか。	評価報告書の総合分析を修正しました。	
62		内田委員	その他	丹沢山系では、古くから水資源の確保のための活動を行なっている。評価報告書に記載することで、神奈川の水資源の豊かさや、環境を重視してきたことをアピールできるのではないか。	二次評価（案）に反映しました。	
63		中村委員	その他	観光客数は、このプロジェクトに関連する社会環境を表す指標として不適當ではないか。別の指標を検討してほしい。	豊かな水を育む水源環境づくりを県民に理解していただく観点から、水源環境保全の市民活動に関するアンケート結果を指標に追加しました。 また、このプロジェクトでは、水の魅力を活用して地域や神奈川県に人を引きつけることをねらいの1つとしているため、観光客数の動向も指標に用いることとしました。	

NO	プロジェクト名	委員名	区分	意見	対応	二次評価（案）
64	21 神奈川の自然環境の保全と活用	金子委員	プロジェクト全体の評価	「やや遅れている」という評価は、数値目標だけでなくその他の視点も含めて分析されたものか、明確に記載し、ニホンジカ対策や登山道対策なども着実に進めること。	評価報告書の総合分析の記述を修正し、二次評価（案）に反映しました。	やや遅れています ・丹沢大山や都市部のみどりなど、それぞれの特性に応じた効果的な取組みを進める必要があります。
65		治田委員	プロジェクト全体の評価	団体数を数値目標とすることは適当か。また、達成できなかった原因が団体側に原因があるような記載となっているが適当か。	数値目標については、すでにかがわグランドデザインに位置づけられているものであり、次の目標設定の際に検討します。目標未達の原因の記載については、数値目標の達成状況の記述を修正しました。	
66		山本委員 内田委員	プロジェクト全体の評価	「自然環境」＝「みどり」だけと捉えられているように見えるが、海や川などについても触れる必要があるのではないか。	海を含めた水に関する取組みについては、プロジェクト20の「水のさと かがわ」づくりで取り組んでいきます。	
67	22 持続可能な環境配慮型社会づくり	中村委員	その他	ごみの一人一日当たりの排出量を数値目標とすることは適当か。	数値目標については、すでにかがわグランドデザインに位置づけられているものであり、次の目標設定の際に検討します。	概ね順調に進んでいます

NO	プロジェクト名	委員名	区分	意見	対応	二次評価(案)
68	23 競争力の高い産業の創出・育成	三井委員	プロジェクト全体の評価	技術開発件数や企業誘致件数を数値目標として設定しているが、本来、産業政策は生産や所得などのアウトカム指標により評価すべきである。	実質経済成長率のようなアウトカム指標は、現時点では2012年度の数値が把握できないことが多いため、県の取組みの成果が現れる指標を数値目標として設定し、評価を行うこととしています。	概ね順調に進んでいます ・様々な社会的ニーズを丁寧に捉え、新しいアプローチや見直しを行いながら、ビジネスが活発に行われる環境づくりを進めることが重要です。 ・持続可能な雇用機会を提供できるよう、成長産業の育成・集積が重要です。
69		三井委員	推進上の課題や改善を図るべき事項	神奈川の産業集積は複雑多様で、一つの方向性では規定できない。様々な社会的ニーズを丁寧に捉え、新しいアプローチやこれまでの見直しも含めて、ビジネスが活発に行われる環境づくりを本腰を入れて検討すべきである。	二次評価(案)に反映しました。	
70		高橋委員	推進上の課題や改善を図るべき事項	起業家への支援は、本人からの申請だけでなく、県が自ら有望な起業家を調査し支援することで、有望な起業家を育成することができるのではないかと。	様々な成長過程にある起業家を支援しているインキュベーション施設等を通じて、県の創業支援策を周知することで、より多くの起業家の育成を図っています。	
71		高橋委員	推進上の課題や改善を図るべき事項	起業支援のため、大学での寄付講座など、学生のベンチャーマインドを養成することが必要ではないかと。	大学生向けのセミナーの開催などに取り組んできましたが、ベンチャー内の人材育成に重点を置く方向で見直しを行いました。今後は各事業を実施する中で、学生に参加機会を提供するなど、事業実施の中で対応を検討します。	
72		齋藤(純)委員	推進上の課題や改善を図るべき事項	生産力・競争力だけではなく、持続可能な雇用機会を提供できる産業の育成も重要ではないかと。	二次評価(案)に反映しました。	
73		齋藤委員	その他	県が産業面でどのような方向性をめざすのか、他県との比較で示していただくと分かりやすい。	本県は、研究所の立地件数が全国トップレベルであるなど、高いポテンシャルを有しており、こうしたポテンシャルを最大限に活かして、企業誘致による研究開発機能の集積などをめざすこととしています。	

NO	プロジェクト名	委員名	区分	意見	対応	二次評価(案)
74	24 産業人材の育成と就業支援の充実	三井委員	推進上の課題や改善を図るべき事項	安定就労は本人にとっても企業にとっても大きな課題である。若年層の就職状況が厳しい中、職業訓練や学校教育などで行政が果たすべき役割は大きく、積極的に取り組むべきである。	二次評価(案)に反映しました。	概ね順調に進んでいます ・若年層の就職状況が厳しい中、職業訓練や学校教育などに積極的に取り組み、働きたい若者の雇用を促進する必要があります。
75		齋藤(文)委員	推進上の課題や改善を図るべき事項	労働の偏りを回避し、働きたい若者が適正で健全に働けるよう、ワークシェアリングを推進する必要がある。	二次評価(案)に反映しました。	
76		高橋委員	推進上の課題や改善を図るべき事項	求職者に求めるスキルなどの企業ニーズを継続的に調査し、適切な職業訓練を提供する必要がある。	企業ニーズを把握した上で訓練コースの見直しなどに取り組んでいますが、さらに取組みを推進するよう、事業実施の中で定期的・継続的なニーズ把握を行います。	
77		竹中委員	推進上の課題や改善を図るべき事項	若年層、障害者だけでなく、中高年の就業ニーズに応える対策も必要ではないか。労働条件の悪化、賃金カット、リストラなど深刻なものを受け止める施策が必要である。	「シニア・ジョブスタイル・かながわ」におけるキャリアカウンセリングや、「かながわ労働センター」における労働相談などに取り組んでいますが、さらに取組みを推進するよう、事業実施の中で対応を検討します。	
78		齋藤(純)委員	その他	男性の育児休業取得率は2%程度で推移しており、「増えている」ではなく「低迷している」と記載するべき。	男性の育児休業取得率は上昇しており、一方で、「まだ非常に低いもの」と分析しています。	

NO	プロジェクト名	委員名	区分	意見	対応	二次評価（案）
79	25 神奈川を世界にアピールする国際戦略	高橋委員	推進上の課題や改善を図るべき事項	日本の漫画文化は世界で認知されていることから、本県ゆかりの漫画家と協力し、神奈川独自の漫画フェスタを開催すれば、外国人観光客の増加につながるのではないかと。	事業実施の中で対応を検討します。	<p>順調に進んでいます</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ソーシャルメディアなどを広く活用して神奈川の魅力を発信することにより、神奈川の認知度を高める必要があります。 ・東南アジア、南アジア、アフリカなどとの連携や人材交流も進めていく必要があります。
80		高橋委員	推進上の課題や改善を図るべき事項	<u>フェイスブックやツイッターなどを頻繁に更新し神奈川の魅力を発信することにより、若年層の興味関心を惹きつけ、認知度の向上が図られるのではないかと。</u>	二次評価（案）に反映しました。	
81		三井委員	推進上の課題や改善を図るべき事項	<u>日中・日韓関係が悪化する中、東南アジア、南アジア、アフリカといった地域との連携や人材交流を進める必要があるのではないかと。</u>	二次評価（案）に反映しました。	
82		竹中委員	推進上の課題や改善を図るべき事項	T P P や各国との F T A が進展する中で、県として取り組むべき戦略や対策を、今後早急に検討する必要がある。	新たな政策課題の整理を行う中で対応を検討します。	
83		内田委員	推進上の課題や改善を図るべき事項	神奈川県はドイツのバーデン-ビュルテンベルク州（B-W州）と友好提携を締結し、様々な交流してきたが、昨今、交流活動が停止状態であるので、交流が再開することを期待したい。	ドイツのバーデン-ビュルテンベルク州との交流は現在も継続していますが、さらに取組みを推進するよう、事業実施の中で対応を検討します。	

NO	プロジェクト名	委員名	区分	意見	対応	二次評価(案)
84	26 神奈川の特色を生かした農林水産業の展開	三井委員	推進上の課題や改善を図るべき事項	農水産品への県民ニーズや神奈川ブランドの力は高いと考えている。 <u>重要なのは、それを誰が担うかという点であり事業者、支援者をどう創っていくかが今後の重点と考える。</u>	二次評価(案)に反映しました。	概ね順調に進んでいます ・中核的な担い手の確保を進めるとともに、神奈川の強みを活かすため、地産地消のPRなどを通じて、幅広く農林水産業への理解や協力を求める取組みもさらに強化していく必要があります。
85		三井委員	推進上の課題や改善を図るべき事項	林業は産業であると同時に自然環境の保全のためにも重要な要素であり、行政が積極的に介入してもよいのではないが。	自然環境保護の観点では「PJ21神奈川の自然環境の保全と活用」において取り組んでいます。	
86		高橋委員	推進上の課題や改善を図るべき事項	林業については、自立的に事業を行えるような助成の仕組みや新規参入者の確保が重要ではないか。	林業への支援については、生産支援のみならず、加工・流通・販売への支援により体質強化を図っており、新規参入者の確保については、「かながわ森林塾」等により取り組んでいます。さらに取組みを推進するよう、事業実施の中で対応を検討します。	
87		高橋委員	推進上の課題や改善を図るべき事項	海外企業や投資家による私有林の買取りが増加していると聞く。実態調査や対策が必要ではないか。	実態調査については、対応を検討します。現在、森林(緑地)の保全については、歴史的風土特別保存地区における県の買い入れや、公益法人による取組み等により対応していますが、私有林に対して実施できる取組みには限りがあると考えています。	
88		齋藤(文)委員	推進上の課題や改善を図るべき事項	<u>地産地消の重要性について、意識啓発できる場の充実が必要である。</u>	地産地消の意識啓発については、大型直売センターでの情報発信等で取り組んでおりますが、ご意見の主旨は二次評価(案)に反映しました。	

NO	プロジェクト名	委員名	区分	意見	対応	二次評価(案)
89	27 活力と魅力あふれるまちづくりと交通ネットワークの充実	三井委員 村木委員 齋藤(文)委員	プロジェクト全体の評価	交通だけに着目せず、数値目標も含めて発想の転換が必要ではないか。	新たな政策課題の整理を行う中で対応を検討します。	概ね順調に進んでいます 総合的な交通ネットワークの形成と地域の特性を生かしたまちづくりの連携に留意し、誰もが住みやすいゆとりと魅力ある県土づくりを進める必要があります。
90		三井委員	推進上の課題や改善を図るべき事項	横浜・川崎、首都方面への交通網の一極集中は県央・県南の過疎化を招き、まちづくりの衰退になりかねない。大きな哲学を持って取組むべきである。	新たな政策課題の整理を行う中で対応を検討します。	
91		村木委員	推進上の課題や改善を図るべき事項	低炭素型市街地形成という観点が抜けている。バスも含めた公共交通にシフトするモビリティ・マネジメントや市街地のコンパクトシティ化に触れる必要もあるのではないか。	新たな政策課題の整理を行う中で対応を検討します。	
92		三井委員	推進上の課題や改善を図るべき事項	<u>県土の形成のためには、まちづくりと交通ネットワークの連携が必要である。</u>	二次評価(案)に反映しました。	